

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公表番号】特表2004-528790(P2004-528790A)

【公表日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2004-036

【出願番号】特願2003-501940(P2003-501940)

【国際特許分類第7版】

H 04 N 5/44

H 04 B 1/06

H 04 H 1/00

【F I】

H 04 N 5/44 Z

H 04 B 1/06 Z

H 04 H 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月19日(2003.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの番組の開始時刻と終了時刻を含む情報からなる電子番組情報のカタログの処理方法であって：

前記少なくとも1つの番組の特性データを表す第1値を前記開始時刻に取得するステップ；

前記カタログに前記第1値を保存するステップ；

前記少なくとも1つの番組の特性データを表す第2値を前記終了時刻に取得するステップ；及び

前記カタログに前記第2値を保存するステップ；

ユーザが利用のため前記少なくとも1つの番組を番組入力を備えた装置により選ぶ場合、前記第1値と前記第2値を前記装置にコピーするステップ；及び

前記第1値と前記第2値を前記番組入力から取得した対応する値と比較し、前記利用のため開始及び終了時刻を決定するステップ；

からなることを特徴とする方法。

【請求項2】

請求項1記載の方法であって、前記第1値は、前記少なくとも1つの番組の直前の番組の終了の特性データを表すことを特徴とする方法。

【請求項3】

請求項2記載の方法であって、前記情報は：

仮の直前の番組の前記終了時刻；及び

前記開始時刻に前記少なくとも1つの番組の特性データを表す前記第2値；

を含み、前記仮の直前の番組の終了時刻を決定するため前記第1値は前記番組入力から取得した対応する値と比較され、前記利用の開始時刻を決定するため前記番組入力から取得した対応する値と比較されることを特徴とする方法。

【請求項4】

請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項記載の方法であって、前記番組は映像信号源により搬送されることを特徴とする方法。

【請求項 5】

請求項 1 または 2 記載の方法であって、前記番組から収集される特性データを表す前記値は、前記番組のフレームからの特性の組み合わせを利用することにより生成されるシグネチャであることを特徴とする方法。

【請求項 6】

請求項 1 または 2 記載の方法であって、前記番組から収集される特性データを表す前記値は、前記番組のフレームから生成されるカラーヒストグラムであることを特徴とする方法。

【請求項 7】

請求項 1 または 2 記載の方法であって、前記番組から収集される特性データを表す前記値は、前記番組のフレームから収集される字幕データから生成されることを特徴とする方法。

【請求項 8】

請求項 1 または 2 記載の方法であって、前記番組から収集される特性データを表す前記値は、前記番組の 1 つ以上のフレームからの音声部分から生成されることを特徴とする方法。

【請求項 9】

請求項 1 または 2 記載の方法であって、前記番組から収集される特性データを表す前記値は、フレームの離散コサイン値のブロックに対し生成されるシグネチャであることを特徴とする方法。

【請求項 10】

請求項 1 または 2 記載の方法であって、前記番組から収集される特性データを表す前記値は、低レベル特性から取得されることを特徴とする方法。

【請求項 11】

請求項 1 または 2 記載の方法であって、前記DCTブロックの特性を表す前記値は、フレームのDCT値のブロックに対し生成されるシグネチャであることを特徴とする方法。

【請求項 12】

番組の開始時刻と終了時刻が記憶され、前記番組から収集される特性データにより表される前記番組のための情報を含む電子番組情報のカタログの処理システムであって：

前記番組の映像信号源；及び

前記映像信号源、電子番組ガイド、ユーザ選択装置及び論理出力手段に接続されるプロセッサ；

からなり、前記プロセッサは、前記ユーザ選択装置からユーザ番組選択を取得し、前記カタログを含む前記電子番組ガイドから前記特性データ、番組チャンネル選択及び番組開始及び終了時間を取得し、前記特性データを映像信号源から生成される補完特性データと比較するため、前記番組開始時刻に近接した時刻に前記映像信号源をモニタし、及び(a)前記特性データが映像信号源から生成される前記補完特性データに等しい場合、論理出力手段をTRUEに設定し、前記比較の実行を止めるか、あるいは(b)そうでない場合、論理出力手段をFALSEに設定し、映像信号源に対し前記比較を実行し続けることを特徴とするシステム。

【請求項 13】

請求項 12 記載のシステムであって、さらに、前記プロセッサは、前記特性データを映像信号源から生成される補完特性データと比較するため、前記番組終了時刻に近接した時刻に前記映像信号源をモニタし、及び(a)前記特性データが映像信号源から生成される前記補完特性データに等しい場合、論理出力手段をFALSEに設定し、前記比較の実行を止めるか、あるいは(b)そうでない場合、論理出力手段をTRUEに設定し、映像信号源に対し前記比較を実行し続けることを特徴とするシステム。

【請求項 14】

請求項1_2記載のシステムであって、前記プロセッサはさらに、前記番組のさらなる処理のための装置に接続され、前記論理出力手段のTRUE値は前記プロセッサに前記番組のチャンネルに合わせて前記装置をオンすることを特徴とするシステム。

【請求項15】

請求項1_4記載のシステムであって、さらに、前記論理出力手段のFALSE値は前記さらなる処理のための装置をオフすることを特徴とするシステム。

【請求項16】

請求項1_2記載のシステムとして機能するよう実行されるとき、プログラム可能な装置を可能にするコンピュータプログラムプロダクツ。